

JAEA データ転送用光ケーブル敷設作業

仕様書

1. 件名

JAEA データ転送用光ケーブル敷設作業

2. 目的及び概要

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。JAEA と略す。）が大型放射光施設 SPring-8 に所有する JAEA 専用ビームライン BL22XU に於いて、1 F デブリ解析研究「廃炉マテリアルズ AI・DX プラットフォームの開発」を実施するために、放射光実験にて取得した実験データを最大限に利活用するために必要な光ケーブル敷設作業を行う。JAEA 播磨地区・放射光物性研究棟と SPring-8 RI 実験棟間を光ケーブルで接続し、JAEA 専用回線を経由して東海地区や柏地区と播磨地区において実験データの共有化とデータ解析に利用する。

3. 作業実施場所

兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

大型放射光施設 SPring-8 蓄積リング棟、RI 実験棟、放射光物性研究棟
内指定場所

4. 納期

令和 8 年 3 月 13 日

5. 構成及び作業仕様

- (1) 放射光物性研究棟 3 階計算機室から RI 実験棟 1 階計測室まで光ケーブルを敷設する。計測室への引き込みには壁に配線モールを設置する。
- (2) 光ケーブル敷設ルートは、放射光物性研究棟～放射光物性研究棟附属機械棟～既設トレンチ～蓄積リング棟～RI 実験棟とする。
- (3) 敷設する光ケーブルは、シングルモードファイバ 8 芯とする。両端に番号タグを付ける。両端ともスプライスパネル（光パネル）へ融着接続にて取り合いとする。スプライスパネルは 19 インチラックマウント型 1 U タイプとする。
光ファイバーケーブル仕様
 - ・長さ：1400m 程度
 - ・テープスロット型、9/125、8 芯、屋外用（OS2）
- (4) パッチコードは両端 LC コネクタとする。2 芯／本にて 2m 長を 4 本付属する。パッチコードの両端にも番号タグを付ける。
- (5) 敷設ルートは添付図面を参照のこと。

6. 試験検査

- (1) 外観検査：目視により確認する。
- (2) 員数検査：目視により数量を確認する。
- (3) 通信検査：ネットワーク回線検査専用テスター等を使用して、配線及びコネクタ等を検査する。

7. 支給品及び貸与品

無し

8. 提出図書

- (1) 配線接続図（要確認） 試験検査終了後 3 週間以内 2 部
 - ・ 光ケーブルの敷設場所及び配線番号等を記載する。
 - ・ (1)と(2)の図書 1 部ずつを、一冊のファイルにまとめて提出する。
- (2) 検査成績書 試験検査終了後 3 週間以内 2 部
 - ・ 通信検査の結果を記載する。
 - ・ (1)と(2)の図書 1 部ずつを、一冊のファイルにまとめて提出する。
- (3) 電子データ CD 検収日まで 1 部
 - ・ (1)及び(2)の電子データを納めた CD。

(提出場所) 原子力機構 物質科学研究センター 研究推進室

9. 検収条件

「6. 試験検査」の合格、「8. 提出図書」の確認及び原子力機構が仕様書に定める作業が実施されたと認めた時を以て検収とする。

10. 特記事項

- (1) 光ケーブル敷設ルートは放射線管理区域ではない。光ケーブルは、蓄積リング運転停止期間内（令和 7 年 8 月 5 日頃から令和 7 年 9 月 12 日頃まで、または令和 7 年 12 月 15 日頃から令和 8 年 1 月 14 日頃まで）に敷設作業を終えることとする。
- (2) 受注者は異常事態等が発生した場合、原子力機構の指示に従い行動するものとする。また、契約に基づく作業等を起因として異常事態等が発生した場合、受注者がその原因分析や対策検討を行い、主体的に改善するとともに、結果について機構の確認を受けること。

11. 検査員及び監督員

- (1) 検査員
一般検査 管財担当課長
- (2) 監督員
試験検査 物質科学研究センター 担当課室員

12. グリーン購入法の推進

- (1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA 機器等）の採用が可能な場合は、これを採用するものとする。
- (2) 本仕様書に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

13. 協議

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について
疑義が生じた場合は、原子力機構と協議のうえ、その決定に従うものとする。

以上

光ケーブル敷設位置：概念

SPring-8 Campus Guide

